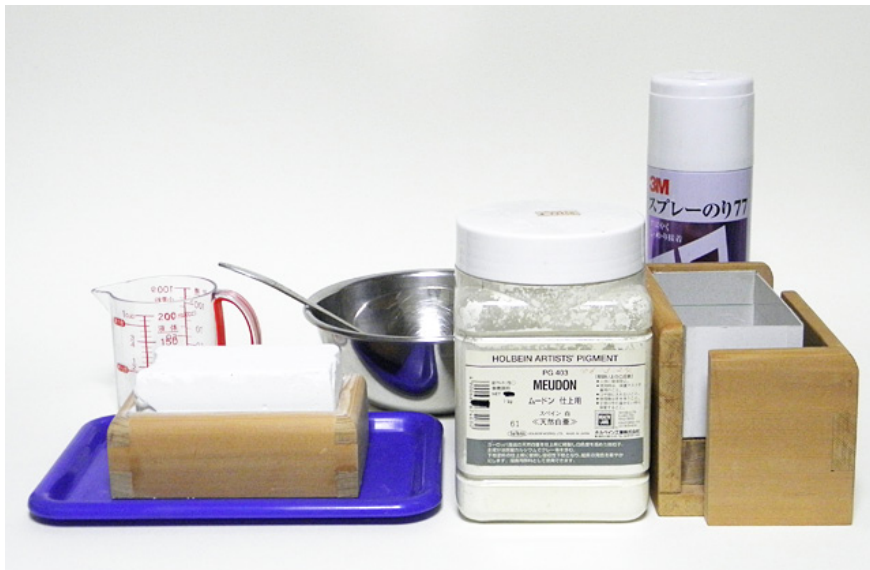


9 スペイン白の塊を作る

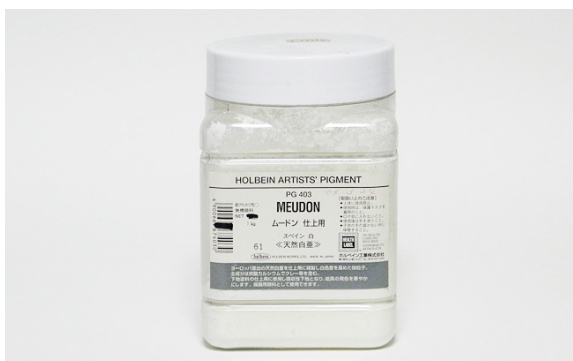


写真左奥から：
計量カップ
ステンレスボウルと攪拌用匙
スプレー糊
スペイン白の塊
スペイン白（仕上げ用）
木枠と流し込み用型箱

版にインキを付けたあと寒冷紗や絹で拭き取ってから印刷するのだが、さらにスペイン白を掌に付けて拭き取ると、部分的に残った油膜もきれいに取り除くことができる。この掌の拭き取りにはタルクなどを用いるのだが、粉末のものを使うとうっかり版の上にこぼしたりすることがある。それでは、せっかく拭き取った版が印刷できない。それに、辺りを汚すことにもなる。それで、スペイン白を固めて使用すると必要な粉を掌に付着させることができる。

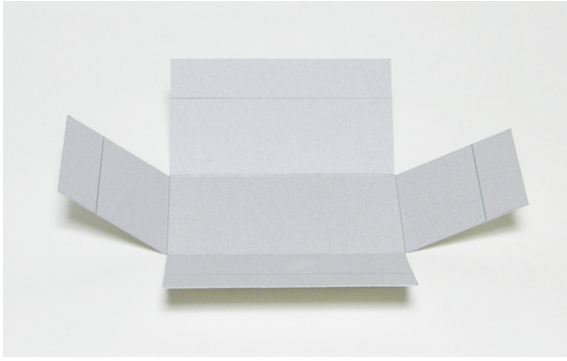
このスペイン白の塊は、「LA GRAVURE EN TAILLE-DOUCE / DESSAIN ET TOLRA」の中で偶然知ったもので、次のように書かれている。「手の拭きでは、スペイン白またはムードン白が必要である。それを簡便に用いるために小さな塊にする。水に均質に混ぜて、かなり濃密な密度の高いペースト状にして、数日放置して乾燥させる」。

スペイン白は画材店で、天然白亜 (MEUDON) として売られている。求めるときは下地用ではなく、仕上げ用を購入する。下地用では粒子が粗く掌での拭き取りには適さない。作り方はいたって簡単で、ただ水で捏ねて固めるだけである。だが、でき上がったものは大変重宝である。

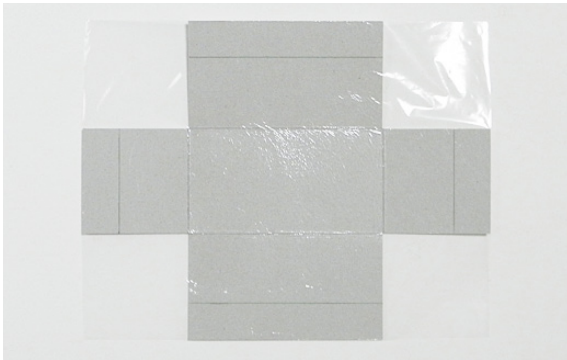


スペイン白の塊を作る

1. 写真はスペイン白(天然白亜)。このスペイン白は、必ず仕上げ用を使用する。尚、この容器の純量は1kgである。



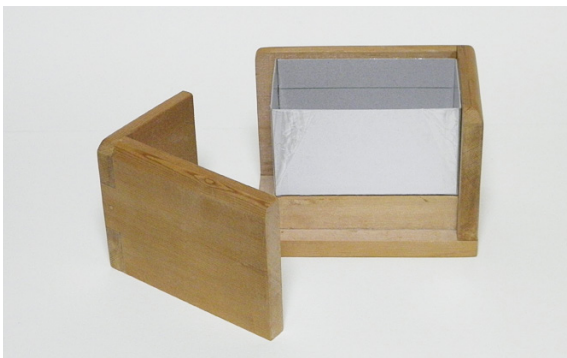
2. ここでは、60 × 110 × 40 ミリのスペイン白の塊を作ることにする。それで、厚めのボール紙などで、底が60 × 110 ミリ、高さが60 ミリ程の箱を作る。それから、水で練ったスペイン白を入れた際の高さ40 ミリの位置を印しておく。



3. 水で練ったスペイン白が漏れないように、ボール紙で作った箱を展開して、スプレー糊でビニールシートを貼る。ビニールシートはゴミ袋などを開いて用いる。



4. 箱に組み立て、4角を整えてセロテープなどで補強する。この箱にスペイン白を水で捏ねたものを入れる。



5. ボール紙の容器は、捏ねたスペイン白を移し入ると変形するので、補強としてひとまわり大きな箱を作る。写真は専用の木枠であるが、もっと簡単なものでよいだろう。例えば、厚めのベニヤ板や段ボール紙を用いて、布製のガムテープで止めて組み立てるだけで十分だろう。



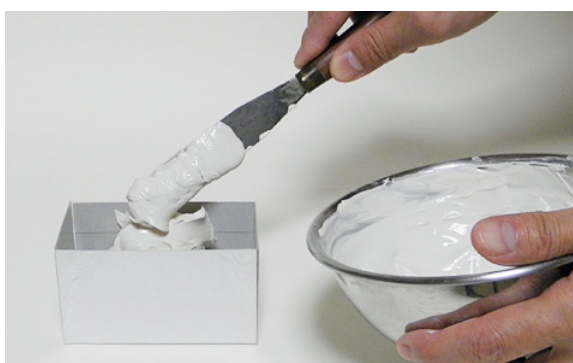
6. スペイン白 400g を準備する。これで、60 × 110 × 40 ミリの塊を作ることができる。写真は風袋引きでのスペイン白の計量。写真にある電子計りで厳密に計る必要はなく、大体でよいだろう。



7. 計量したスペイン白 400 g と水 150cc。



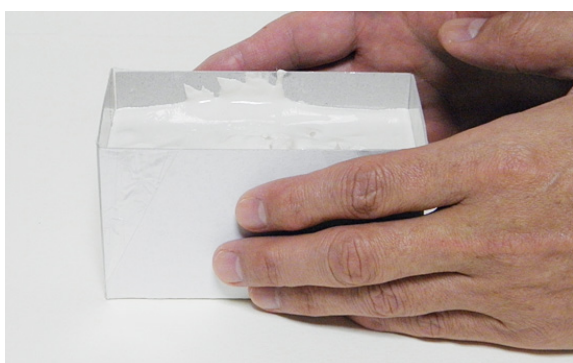
8. ボウルに水を注ぎ、匙やヘラなどで捏ねて固めのペースト状にする。



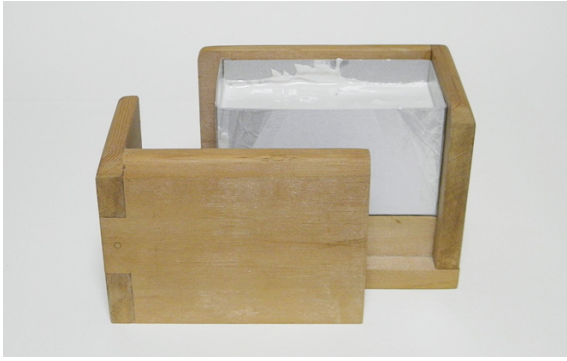
9. ペースト状のスペイン白を、ボール紙で作った型容器に移す。



10. 写真は移し終えた状態。



11. 箱の側面を軽く叩いて気泡を抜く。



12. 気泡を抜いたら木枠に収める。



13. 木枠をゴムバンドで固定する。この状態で季節にもよるが10日～2週間程、風通しのよい日陰に放置して自然乾燥させる。乾燥の目安は、指で軽く触れて粉が付着すればよい。



14. 二週間自然放置した状態。



15. 数日経って乾燥したら、容器の角にカッターナイフで軽く切り込んで取り出す。スペイン白の塊はととも脆いので慎重に扱う。取り出して、まだ湿っているようならその状態で完全に乾燥させる。



16. 写真は乾燥して固まったスペイン白の塊。



スペイン白の塊の台座

1. 取り出した塊は、そのままでは扱い難いので台座を作る。その台座は、木材で上げ底の箱を作ればよいだろう。写真の台座は高さ45ミリ、深さ12ミリで、その板の厚さは12ミリである。収める底の大きさは、スペイン白の塊の実寸で決めるとよい。



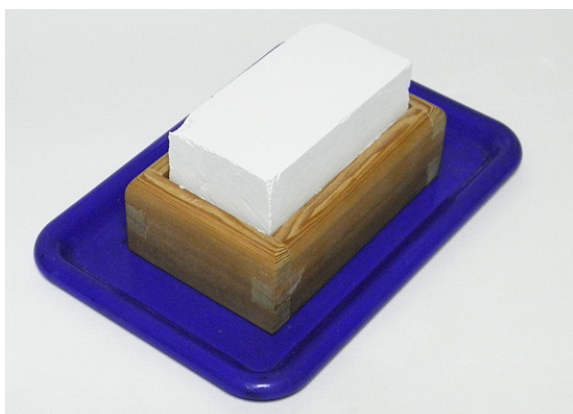
2. スペイン白の塊が台座に収まらなかったり、あるいは表面を整えたい場合は、各面を布サンドペーパー#100番程度の上で前後に動かして削り取る。その際、スペイン白の塊は脆いので慎重に行う。



3. スペイン白の塊を台座に収めた状態。

スペイン白での拭き取りについて

技法書「LA GRAVURE EN TAILLE-DOUCE」には、スペイン白での拭き取りについて次のように書かれている。「掌による拭きでは、手によって集めたインキを再度付着させないために、絶えずムードン白を用いて乾かす。それはほんの少しでよく、ボロ切れまたはたいていの印刷工がかけている皮の前掛けで手を拭く必要がある。そして斜断面（プレートマーク）をきれいにする。そのためには、ボロ布と親指とで、先程と同様にムードン白を利用して周り全体にかける」。



スペイン白の塊を作るのは面倒かも知れないが、一度作ると長い間使用することができる。また、台座に収めたスペイン白の塊は、小さなトレーに乗せて使うと辺りを汚さずに済む。そのトレーの裏には滑り止めを施す。尚、スペイン白の塊を用いた拭き取りの仕方は、「4 印刷と乾燥」を参照されたい。